



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日
東

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	10,869	△14.2	233	△1.3	263	1.0	153	8.1
2019年9月期第3四半期	12,666	△6.4	236	△21.9	260	△13.2	141	△15.3

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 185百万円(－%) 2019年9月期第3四半期 7百万円(△96.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	11.43	—
2019年9月期第3四半期	10.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	14,011	5,281	37.3
2019年9月期	12,848	5,230	40.3

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 5,228百万円 2019年9月期 5,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年9月期	—	5.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルス感染症の拡大により、業績に影響を与える不確定な要素が多く、数値予測を示すことが難しい状況であるため、2019年11月11日公表の業績予想を2020年5月11日に取り下げ、「未定」としております。今後新型コロナウイルスによる感染症の業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	13,410,000株	2019年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	177株	2019年9月期	127株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	13,409,851株	2019年9月期3Q	13,409,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年10月1日～2020年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、政府による緊急事態宣言が発出され小売店等の店舗営業が制限されたほか、国民に対して外出自粛が要請されるなど経済活動が大幅に縮小し、景気が急速に悪化しました。当社においても、取引先企業の多くが店舗営業を自粛したことで営業活動が制限されたほか、主要な商品供給元である中国での新型コロナウイルス感染症の拡大により、一時的に商品調達が滞るなどの影響が出ました。

当連結会計年度は、「粧美堂(SHOBIDO)の真のメーカー化を目指して事業構造を見直し、ブランド力を強化する」を行動指針として、主力の3事業(ZACCA(雑貨)事業、OEM事業、コスメコンタクト®(注)事業)それぞれの収益力強化を図ることに加えて、主要商品のブランディングに注力しております。海外市場については、引き続きコスメコンタクト®を中心に売上拡大に向けた施策を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、商品、取引先別に採算性の見直しを継続したことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による消費低迷の結果、対前年同期比14.2%減の10,869,666千円と大幅な減収となりました。生産コストの削減、取引条件の見直し等に取り組んだことで、差引売上総利益率は29.6%と前年同期比0.4ポイント改善したものの、差引売上総利益額は、3,213,319千円(対前年同期比13.2%減)となりました。販売費及び一般管理費は、全般的に抑制を図り、対前年同期比14.0%減の2,980,301千円となりました。この結果、営業利益は233,017千円(対前年同期比1.3%減)、経常利益は263,590千円(対前年同期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は153,261千円(対前年同期比8.1%増)となりました。

(注) コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

① 化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、スキンケア関連用品、キッズコスメ等が好調であったことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により携帯用のボトル需要が増加するなど一部に健闘した商品群があったものの、取引先企業の店舗営業の自粛、消費者が外出を控えたことが響き、6,679,105千円(対前年同期比7.2%減)となりました。

② コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、中国での販売とクリアレンズは増収となったものの、消費者の外出自粛等からワンデーのカラーレンズの需要が低迷したこと、コンタクトレンズ商品のブランド数及び得意先の選択と集中を継続していること等により、2,093,705千円(対前年同期比11.8%減)となりました。

③ 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、キャラクター商品を中心に企画数の絞り込みを行ったことや取引先企業の店舗営業自粛の影響を受け、1,278,343千円(対前年同期比30.3%減)となりました。

④ その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、ギフト商品の企画数を減らしたことに加えて、取引先企業の店舗営業自粛の影響等により文具、行楽用品等の季節商材が不振だったことから、818,511千円(対前年同期比35.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,162,847千円増加し、14,011,646千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて103,908千円増加し、10,286,792千円となりました。

これは主に、現金及び預金が209,644千円、商品が57,573千円、為替予約が62,781千円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が282,939千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,058,938千円増加し、3,724,854千円となりました。

これは主に、土地が559,188千円、有形固定資産のその他が592,126千円増加したことに対し、投資その他の資産のその他が106,083千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,111,710千円増加し、8,729,756千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて33,313千円減少し、4,280,479千円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が289,400千円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が115,997千円、未払法人税等が105,077千円、賞与引当金が76,612千円、返品調整引当金が18,100千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,145,024千円増加し、4,449,277千円となりました。

これは主に、長期借入金が1,030,000千円、その他が123,692千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて51,136千円増加し、5,281,889千円となりました。

これは主に、利益剰余金が19,162千円、繰延ヘッジ損益が42,724千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社においては調達面、販売面でマイナス影響が出ました。

特に、4月16日に政府が緊急事態宣言を発出し人々に外出自粛や小売店舗に営業自粛を要請するなど、消費全般が急激な落ち込みを示しました。緊急事態宣言解除後に消費はやや持ち直したものの、6月以降再び感染者数が増加傾向を示しており、今後の見通しについて予断を許さない状況にあります。2020年9月期連結業績予想に関し、現時点では業績に影響を与える不確定な要素が多く、数値予測を示すことが難しい状況にあります。今後新型コロナウイルス感染症による業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,253,652	5,463,297
受取手形及び売掛金	2,914,761	2,631,821
商品	1,497,977	1,555,551
貯蔵品	93,697	80,142
為替予約	183,239	246,020
その他	242,053	312,456
貸倒引当金	△2,496	△2,496
流動資産合計	10,182,883	10,286,792
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,006,411	1,565,599
その他(純額)	717,627	1,309,754
有形固定資産合計	1,724,039	2,875,354
無形固定資産		
	60,146	51,762
投資その他の資産		
投資有価証券	301,157	323,706
その他	581,084	475,000
貸倒引当金	△512	△969
投資その他の資産合計	881,729	797,737
固定資産合計	2,665,915	3,724,854
資産合計	12,848,799	14,011,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,031,564	1,915,567
1年内返済予定の長期借入金	1,556,604	1,846,004
未払法人税等	105,203	126
賞与引当金	155,800	79,188
返品調整引当金	41,400	23,300
その他	423,219	416,293
流動負債合計	4,313,792	4,280,479
固定負債		
長期借入金	3,149,500	4,179,500
役員退職慰労引当金	99,549	90,650
資産除去債務	32,207	32,438
その他	22,996	146,689
固定負債合計	3,304,253	4,449,277
負債合計	7,618,046	8,729,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,168,572	4,187,735
自己株式	△71	△87
株主資本合計	4,978,314	4,997,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,970	50,217
繰延ヘッジ損益	124,175	166,900
為替換算調整勘定	28,584	14,136
その他の包括利益累計額合計	199,730	231,254
非支配株主持分	52,708	53,174
純資産合計	5,230,753	5,281,889
負債純資産合計	12,848,799	14,011,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,666,094	10,869,666
売上原価	8,975,748	7,674,446
売上総利益	3,690,346	3,195,219
返品調整引当金戻入額	41,900	41,400
返品調整引当金繰入額	32,200	23,300
差引売上総利益	3,700,046	3,213,319
販売費及び一般管理費	3,463,902	2,980,301
営業利益	236,143	233,017
営業外収益		
受取利息	4,867	4,956
受取配当金	7,345	5,254
受取手数料	8,274	7,231
不動産賃貸収入	3,937	44,369
為替差益	14,426	8,903
その他	5,160	18,310
営業外収益合計	44,012	89,024
営業外費用		
支払利息	18,093	17,321
不動産賃貸費用	783	40,555
その他	372	574
営業外費用合計	19,248	58,452
経常利益	260,906	263,590
特別利益		
投資有価証券売却益	14,748	30
特別利益合計	14,748	30
税金等調整前四半期純利益	275,655	263,620
法人税、住民税及び事業税	107,638	44,141
法人税等調整額	26,262	64,454
法人税等合計	133,901	108,595
四半期純利益	141,754	155,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,754	153,261

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	141,754	155,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,676	3,247
繰延ヘッジ損益	△74,380	42,724
為替換算調整勘定	1,922	△15,746
その他の包括利益合計	△134,134	30,226
四半期包括利益	7,620	185,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,620	184,785
非支配株主に係る四半期包括利益	—	466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症については、5月に緊急事態宣言が解除されて以降、社会経済の活動レベルの段階的緩和が行われているものの、当社グループにおいては引き続き、販売面でマイナスの影響が出ております。また、第2波の感染拡大が懸念されている状況であることから、当社では、2021年9月期にかけて感染拡大が収束していくという仮定に基づき、固定資産の減損会計、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っておりますが、現時点において重要な影響はないものと判断しております。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定な要素が多いことから、その収束状況によっては当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。